

【基本情報】

2次医療圏域	西播磨					
経営形態	公営企業法全部適用					
病床数 稼働(人)	一般	392	(352)	高度急性期	63	(63)
	療養	0	(0)	急性期	333	(289)
	結核	0	(0)	回復期	0	(0)
	精神	0	(0)	慢性期	0	(0)
	感染症	4	(0)	合計	396	(352)
合計	396	(352)				

【診療科目】

内科	○	産婦人科	○
精神・神経内科	○	眼科	○
小児科	○	耳鼻いんこう科	○
外科	○	放射線科	○
整形外科	○	歯科・口腔科	○
脳神経外科	○	麻酔科	○
皮膚・泌尿器科	○	その他	○

【医療機能】

救急告示病院	○	人間ドッグ	○
臨床研修病院	○	人工透析	○
がん診療連携拠点病院	○	ICU・CCU	-
感染症指定医療機関	○	NICU・未熟児室	-
へき地医療拠点病院	○	運動機能訓練室	○
災害拠点病院	○	放射線診療	○
地域医療支援病院	○		
特定機能病院	-		
病院群輪審判病院	○		

グラフ凡例



【分析】

経営分析総括

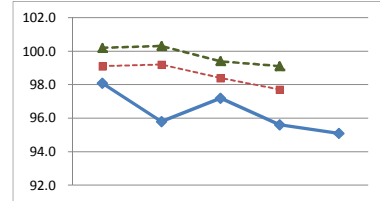
平成30年3月完成予定の増改築事業を進めていくなかで、地域の基幹的な医療機関として良質な医療を継続的に提供できる経営基盤を確保するため、改革プランに基づく業務運営の改善及び効率化を実施するとともに、適切な予算執行管理を行い、健全経営に努めていく必要があります。

①経営の健全性

経常収支比率においては、平均を下回っていますが、一般会計からの繰入金を含む医療外の収支を除いた医療収支比率では平均を上回っています。これは、主に当院の繰入率が平均よりも低いことが要因の一つと考えられますが、独立採算性の原則からも、さらなる医療収益の増収及び経費の圧縮を行い、健全な経営に努めていく必要があります。なお、資本制度の見直しにより資本金及び資本剰余金にて欠損金の補てんを行ったため、平成26年度累積欠損金比率は大きく減少しています。

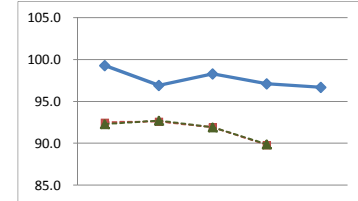
1 経営の健全性

①経常収支比率(%)



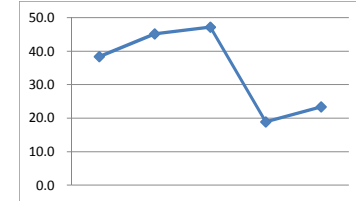
	H23	H24	H25	H26	H27
当院	98.1	95.8	97.2	95.6	95.1
類似平均	99.1	99.2	98.4	97.7	-
全国平均	100.2	100.3	99.4	99.1	-

②医療収支比率(%)



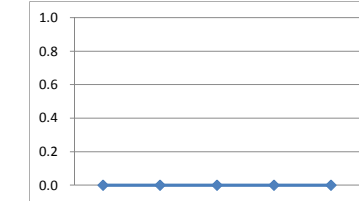
	H23	H24	H25	H26	H27
当院	99.3	96.9	98.3	97.1	96.7
類似平均	92.5	92.6	91.9	89.8	-
全国平均	92.3	92.7	91.9	89.9	-

③累積欠損金比率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
当院	38.4	45.2	47.2	18.9	23.4

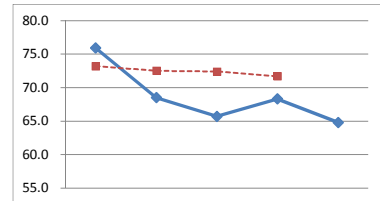
④資金不足比率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
当院	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

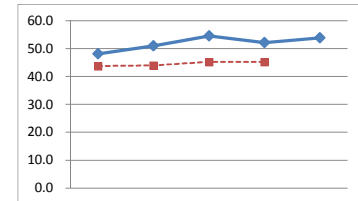
2 収入確保・経費節減

①病床利用率(%)



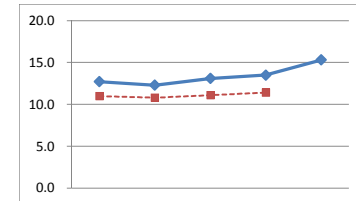
	H23	H24	H25	H26	H27
当院	75.9	68.5	65.7	68.3	64.8
類似平均	73.2	72.5	72.4	71.7	-

②患者1人1日あたり入院収益(千円)



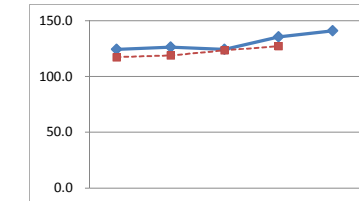
	H23	H24	H25	H26	H27
当院	48.1	51.0	54.5	52.1	53.8
類似平均	43.7	43.9	45.2	45.2	-

③患者1人1日あたり外来収益(千円)



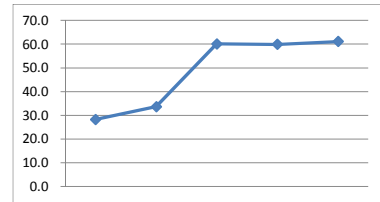
	H23	H24	H25	H26	H27
当院	12.7	12.3	13.1	13.5	15.3
類似平均	11.0	10.8	11.1	11.4	-

④病床100床あたり職員数(人)



	H23	H24	H25	H26	H27
当院	124.2	126.3	124.2	135.5	140.9
類似平均	117.3	118.9	123.5	127.1	-

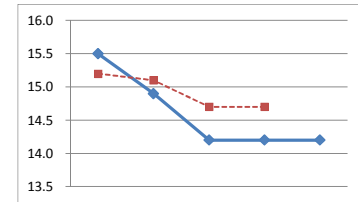
⑤患者紹介率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
当院	28.3	33.7	60.1	59.9	61.1

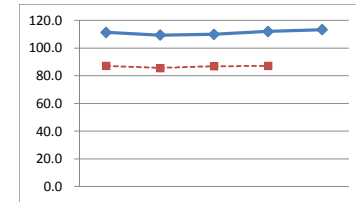
※初診患者に占める文書紹介された患者及び救急搬送された患者の割合

⑥平均在院日数(一般病床)(日)



	H23	H24	H25	H26	H27
当院	15.5	14.9	14.2	14.2	14.2
類似平均	15.2	15.1	14.7	14.7	-

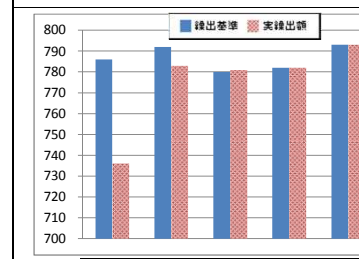
⑦薬品使用効率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
当院	111.3	109.4	109.9	112.1	113.3
類似平均	87.2	85.7	87.0	87.2	-

※薬品収益/薬品購入原価 (比率が高いほど薬品収支がよい)

3 一般会計等の繰出状況(百万円)



	H23	H24	H25	H26	H27
繰出基準	786	792	780	782	793
実績繰出	736	783	781	782	793

※繰出基準:性質上、病院に対して一般会計等が負担すべき経費(救急、高度医療など)
※実績繰出額:病院に対して一般会計等が実際に負担した経費

②収入確保・経費節減

平成26年度には病床数を24床削減しましたが、常勤医師の偏在等による入院患者の減少により、病床利用率は平均を下回る結果となっています。そのため、継続的な医師確保に取り組みつつ、平成26年度には「地域医療支援病院」を、平成27年度には「7体1看護体制加算」などの施設基準を取得して、収入の確保に努めてきました。今後も、継続的な収入確保に努めるとともに、支出面においては、病院経営コンサルタントを利用するなどしたさらなる材料の最適化や価格交渉を強化して経費の圧縮に努めていく必要があります。

③一般会計等の繰出状況

当院が担っている救急医療をはじめ、地方公営企業の繰出基準に基づく繰入金について、市財政当局と協議のうえ交付税措置額を基準として繰入を行っています。引き続き財政当局との協議の中で、市の財政状況も勘案し、現行の基準により経営努力を継続するものとなりますが、外的要因等により収支が改善されない場合等においては、その都度見直しを行うこととしています。